

平成28年4月21日

## 平成28年度「日本遺産(Japan Heritage)」の認定結果の発表について

標記の報道発表資料について誤りがありましたのでお知らせいたします。

### ○訂正資料

- 別紙1 平成28年度「日本遺産 (Japan Heritage)」認定一覧
- 別紙2 平成28年度「日本遺産 (Japan Heritage)」認定概要
- 別紙3 平成28年度「日本遺産 (Japan Heritage)」申請一覧

#### <担当> 文化庁文化財部記念物課

課長	加藤 弘樹 (内線 2873)
課長補佐	田中 康成 (内線 3101)
専門官	中村 崇志 (内線 2874)
企画調整係	吉田 尊徳 (内線 4768)
	宮本 隆行 (内線 4768)
	川口 武彦 (内線 4768)

電話：03-5253-4111 (代表)  
03-6734-4760 (直通)

## 平成28年度「日本遺産(Japan Heritage)」認定一覧

## 【誤】

No	都道府県	申請者 (◎印は代表自治体)	ストーリーのタイトル
3	福島県	◎会津若松市・喜多方市・南会津町・下郷町・檜枝岐村・只見町・北塩原村・西会津町・磐梯町・猪苗代町・会津坂下町・湯川村・柳津町・会津美里町・三島町・金山町・昭和村	会津の三十三観音めぐり～巡礼を通して観た往事の会津の文化～

## 【正】

No	都道府県	申請者 (◎印は代表自治体)	ストーリーのタイトル
3	福島県	◎会津若松市・喜多方市・南会津町・下郷町・檜枝岐村・只見町・北塩原村・西会津町・磐梯町・猪苗代町・会津坂下町・湯川村・柳津町・会津美里町・三島町・金山町・昭和村	会津の三十三観音めぐり～巡礼を通して観た往時の会津の文化～

## 平成 28 年度「日本遺産(Japan Heritage)」認定概要

## 【誤】

《会津の三十三観音めぐり～巡礼を通して観た往事の会津の文化～》

(ストーリーの概要)

磐梯山信仰を取り込み東北地方で最も早く仏教文化が開花した会津は、今も平安初期から中世、近世の仏像や寺院が多く残り「仏都会津」とよばれる。その中でも三十三観音巡りは、古来のおおらかな信仰の姿を今に残し、広く会津の人々に親しまれている。

会津藩祖、名君保科正之が定めた会津三十三観音巡りは広く領民に受け入れられ、のちに様々な三十三観音がつくられた。会津の三十三観音は、国宝を蔵する寺院から山中に佇むひなびた石仏までいたるところにその姿をとどめており、これら三十三観音を巡った道を、道中の宿場や門前町で一服しながらたどることで、往時の会津の人々のおおらかな信仰と娯楽を追体験することができるのである。

【史跡慧日寺跡<sup>えにち</sup>】

## 【正】

《会津の三十三観音めぐり～巡礼を通して観た往時の会津の文化～》

(ストーリーの概要)

磐梯山信仰を取り込み東北地方で最も早く仏教文化が開花した会津は、今も平安初期から中世、近世の仏像や寺院が多く残り「仏都会津」とよばれる。その中でも三十三観音巡りは、古来のおおらかな信仰の姿を今に残し、広く会津の人々に親しまれている。

会津藩祖、名君保科正之が定めた会津三十三観音巡りは広く領民に受け入れられ、のちに様々な三十三観音がつくられた。会津の三十三観音は、国宝を蔵する寺院から山中に佇むひなびた石仏までいたるところにその姿をとどめており、これら三十三観音を巡った道を、道中の宿場や門前町で一服しながらたどることで、往時の会津の人々のおおらかな信仰と娯楽を追体験することができるのである。

【史跡慧日寺跡<sup>えにち</sup>】

【誤】

No	都道府県	申請者 (◎印は代表自治体)	ストーリーのタイトル
8	福島県	◎会津若松市・喜多方市・南会津町・下郷町・檜枝岐村・只見町・北塩原村・西会津町・磐梯町・猪苗代町・会津坂下町・湯川村・柳津町・会津美里町・三島町・金山町・昭和村	会津の三十三観音めぐり～巡礼を通して観た往臺の会津の文化～

【正】

No	都道府県	申請者 (◎印は代表自治体)	ストーリーのタイトル
8	福島県	◎会津若松市・喜多方市・南会津町・下郷町・檜枝岐村・只見町・北塩原村・西会津町・磐梯町・猪苗代町・会津坂下町・湯川村・柳津町・会津美里町・三島町・金山町・昭和村	会津の三十三観音めぐり～巡礼を通して観た往時の会津の文化～